



けんせつ大曲

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

- 大曲出張所 〒014-0054 大仙市大曲金谷町25-40
(雄物川の改修・維持管理担当) TEL 0187-63-3340
- 大曲国道維持出張所 〒014-0067 大仙市飯田宇大道端128
(国道13号の維持管理担当) TEL 0187-63-2157
- 監督官詰所 〒014-0067 大仙市飯田宇大道端128
(大曲・神宮寺バイパス担当) TEL 0187-63-4051

緊急時におけるオイルフェンス設置訓練を実施

平成23年11月18日(金)、大仙市藤木の出川河川公園にて雄物川水系水質汚染対策連絡協議会の関係機関(国、県、市、消防署)の総勢54名が参加のもと、オイルフェンス設置訓練を行いました。この訓練は毎年、暖房用の油類を使う機会が増加するこの時期に行っています。

訓練では、油類の特徴や油処理剤の説明、油事故時の対応として道路上での油除去処理作業、水路や河川での流下防止のためのオイルフェンスを張る横断工法の設置訓練等を行いました。

油流出事故はちょっとした不注意で起こることが多く、油事故を起こした場合、油の回収作業にかかった費用は原因者の負担になりますので、日頃からの注意をお願いします。また、暖房設備の不具合箇所から油が流出して事故につながるケースも見られますので、暖房を使用する前には必ず点検を行ってください。

万が一、事故を起こしてしまったり、発見した時は、お近くの国や県の機関、市役所、消防署、警察署等までご連絡をお願いします。



狭い水路へ取り付けている様子



広い河川に取り付けている様子



油の種類についての説明

雪に負けない 道路除雪関係機関と連携調整会議を開催

平成23年11月17日(木)に国土交通省湯沢河川国道事務所において異常降雪等にかかる関係機関(秋田県・管内沿線4市町村・警察署・東日本高速道路(株))による連携調整会議を開催しました。

この会議は、異常降雪による交通渋滞等の障害が発生するなどの緊急時における必要な体制を整え、関係機関が相互に連携を図り、地域の円滑な道路交通確保を図ることを目的に開催されたものです。



伐採木を無料で差し上げます

河川の工事等で発生した伐採木を無料で差し上げます。

引き渡しにあたって、留意事項がありますので、事前に大曲出張所へお問い合わせください。



<問い合わせ先>

湯沢河川国道事務所 大曲出張所 TEL0187-63-3340
(受付時間：平日 9:00~16:00)

冬タイヤ早期装着広報活動を実施

11月15日(火)、大仙市協和峰吉川字半仙の国道13号沿いで、関係機関と連携して冬タイヤ早期装着広報活動を行い、早めにタイヤ交換するよう呼びかけました。

冬タイヤ早期装着広報活動は平成16年度から実施していますが、当該箇所でのチラシ配布は初めて。

当日は、秋田県内各地で初雪が観測され、本格的な冬の到来を思わせる寒い日でしたが、通行車両一台一台に「早めの冬タイヤ交換」と「全席シートベルト着用」のチラシを配布し、冬道への備えと交通安全を呼びかけました。

昨年度は、全国的に大雪となり、各地で冬タイヤ未装着車によるスタックが多発し、交通渋滞や通行止めを引き起こしました。このようなことが無いよう、早めの冬タイヤ装着をお願いします。

【参加機関】大仙警察署、大仙市協和支所、峰吉川地区交通安全会、国土交通省大曲、秋田、角館各国道維持出張所



ドライバーへチラシで呼びかけ

神宮寺歩道橋を撤去しました

11月7日夜～10日朝にかけて行いました国道13号神宮寺歩道橋の撤去作業が無事終了しました。作業に当たっては通行止め等によりご迷惑をおかけしました。歩道橋の撤去によりすっきりとした景観になりました。今後は周辺の環境整備工事が残っていますので通行の際はご注意ください。

撤去後



撤去前

大曲工業高校1年生が工事現場を見学

11月11日(金)に、秋田県立大曲工業高校1年生土木・建築科の28名が、雄物川中流部緊急対策事業で現在工事が行われている河川樋門新設施工現場を見学しました。

この見学会は、「雄物川大仙地区河川改修工事安全連絡協議会」主催で開催され、地元の高校生に建設現場へ興味・関心を持ってもらうことを目的に行われました。はじめに、雄物川上流部における河川事業や現在施工中の工事概要説明を受け、情報化施工の現状ということで、実際に機器を用いて実演を交えた説明を受けました。その後、すでに築堤が整備され、今年6月出水で洪水被害解消に効果を発揮した強首輪中堤や、現在施工中の樋門新設工事2ヶ所の作業現場を見学しました。最初の現場では地盤改良工事に使われている重機を目の前にして、施工手順についての説明を受けました。また、次の現場ではクレーンでプレキャストブロックの函渠を据え付ける作業の見学をしました。

「樋門・樋管とはどういうものなのか?」という質問もあり、生徒達は、説明に熱心に耳を傾けたり、普段、学校ではなかなか体験できない生の工事作業現場を満喫していました。



河川事業概要の説明



クレーンで函渠を吊り上げている様子【福部樋門新設工事】